

「あたたかな人間関係づくり」を基盤とした教育活動の推進
～「自分大好き」「友達大好き」な児童の育成～

重点目標達成に向けた2学期の方向性
～1学期の成果と課題から取組の焦点化を～

重点目標
達成のための
経営の重点

心力向上
プロジェクト

【徳】3つの言葉
「おはよう」
「ありがとう」
「ごめんね」

指標

・I-check「成功体験と自信」「思いやり」標準スコア50以上

○ 達成感を味わわせる活躍の場の設定

・委員会活動、学年プロジェクト

○ 違いを認め合う教育活動の充実

・道徳(人権学習)、学級活動、エンカウンター

○ あいさつ・返事・掃除の徹底

・委員会活動、ペア掃除、挨拶運動

重点目標
達成のための
経営の重点

体力向上
プロジェクト

【体】チャレンジ
目標設定
振り返り
充実感・達成感

指標

・I-check「成功体験と自信」標準スコア50以上

・運動好きを増やす→児童アンケート85%以上が運動が好き

○ やる気を起こさせる場の設定



委員会主催のスポーツ大会

目標設定
振り返り
充実感・達成感

○ 年間をとおした継続

・体力アップシートの活用

上の図は、重点目標「自分大好き」「友達大好き」な児童の育成に向け、4月提案の学校経営要綱よりもさらに取組を絞ったものです。

1学期の取組の中で「何が有効で、どこが不十分であったのか」を明確にし、「心力向上プロジェクト3つの取組の柱」・「体力向上プロジェクト2つの取組の柱」に絞って、2学期の取組の深化、改善を行っていきましょう。

重点目標 達成のための 経営の重点

学力向上 プロジェクト

【知】 **学びがい**
準備
あいさつ
話の聴き方

○ 学習規律「須恵ースタANDARD」の徹底

・学習の身構え、心構え、物構え

学びがいのある 授業の展開



校内研修による共通理解と実践化

指標

・I-check「成功体験と自信」「発信力」標準スコア50以上

学校経営説明会 須恵町立須恵第一小学校

10

学力向上プロジェクトにいたっては、柱は「須恵ースタANDARDの徹底」1本です。「須恵ースタANDARD」は、最初の段階では「指導」が大切です。

2学期からは「須恵ースタANDARD」を用いて学習することのよさ、すなわち「学びがい」を感じせる授業を目指していきます。

下記の図は、東京都教育委員会から出されている「生徒指導の定義と目的」についての概要です。「これからの自分の実現」こそが「学びがい」です。子ども達が日々の授業を通して自己実現に向かうよう、「自己存在感の感受」「自己決定の場の提供」「共感的な人間関係の育成」「安全・安心な風土の醸成」を位置づけた実践の積み上げを行っていきましょう。

生徒指導の定義と目的

生徒指導
概要

TOP

BACK

NEXT

生徒指導は、学校の教育目標を達成する上で重要な機能を果たすものであり、学習指導と並んで学校教育において重要な意義を持つものと言えます。

生徒指導の定義

生徒指導とは、児童生徒が、社会の中で自分らしく生きることができる存在へと、自発的・主体的に成長や発達する過程を支える教育活動のことである。なお、生徒指導上の課題に対応するために、必要に応じて指導や援助を行う。

生徒指導の目的

生徒指導は、児童生徒一人一人の個性の発見とよさや可能性の伸長と社会的資質・能力の発達を支えると同時に、自己の幸福追求と社会に受け入れられる自己実現を支えることを目的とする。



生徒指導の目的を達成するためには、児童生徒一人一人が **自己指導能力** を身に付けることが重要

※ 児童生徒が、深い自己理解に基づき、「何をしたいのか」、「何をすべきか」、主体的に問題や課題を発見し、自己の目標を選択・設定して、この目標の達成のため、自発的、自律的、かつ、他者の主体性を尊重しながら、自らの行動を決定し、実行する力

生徒指導の実践上の視点

自己存在感の感受

- 「自分も一人の人間として大切にされている」という自己存在感を、児童生徒が実感することが大切
- 自己肯定感や自己有用感を育むことも極めて重要

自己決定の場の提供

- 授業場面で自らの意見を述べる、観察・実験・調べ学習等を通じて自己の仮説を検証してレポートする等、自ら考え、選択し、決定する、あるいは発表する、制作する等の体験が何より重要

共感的な人間関係の育成

- 失敗を恐れない、間違いやできないことを笑わない、むしろ、なぜそう思ったのか、どうすればできるようになるのかを皆で考える支持的で創造的な学級・ホームルームづくりが生徒指導の土台

安全・安心な風土の醸成

- お互いの個性や多様性を認め合い、安心して授業や学校生活が送れるような風土を、教職員の支援の下で、児童生徒自らがつくり上げるようにすることが大切